

「であい・ふれあい・まなびあい」に向けて

犬山市南部公民館(愛知県)



ワークショップ作品の市民ロビーにおける展示



羊毛フェルトワークショップでの交流会の様子

公民館の沿革・年表

- ・昭和59年 犬山市南部公民館開館
(昭和57年開館の市民文化会館と併設)
- ・昭和59年～ 公民館講座開設
- ・平成6年 優良公民館として文部科学大臣賞受賞
- ・平成12年 文部省「地域ですめる子ども外国語学習」
として「子ども外国語学習推進事業」実施
- ・令和4年～ 文部科学省「学校卒業後における障害者の
学びの支援」受託、公民館特別講座開設
- ・令和5年 愛知県公民館連合会表彰受賞

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

- 「学校卒業後における障害者の学びの支援」の模様
- ・令和5年度に名古屋芸術大学と連携し「羊毛フェルトワークショップ」を実施。受講者・介助者を併せ11名が参加し、全10回講座に加え、展示会・交流会を行った。
- ・展示会は南部公民館の展示室のみならず、「公民館を水族館に」という趣旨のもと、市民ロビーで展示を行った。
- ・交流会では作成過程を撮影した動画を視聴し、制作にあたり注力したところなどを発表した。秋田県能代市から視察に来館した公民館職員も交え、和やかに交流ができた。

公民館情報		1. 公民館対象人口	71,521人	3. 来館者のインターネット接続環境	無し
		2. 建物設置年月日	昭和59年10月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	無し
5. 運営主体	☒ 市町村教育委員会 ☐ 指定管理者 () ☐ その他 ()				
6. 来館者数	☒ 学級・講座 2,400人 ☒ 貸館、サークル活動 16,262人 ☒ 講演会、展示会等 34,809人 合計 53,471人 ☐ その他 0人 ()				
7. 職員数	☐ 専任 0人 ☒ 兼任 2人 ☒ 非常勤 5人 ☐ ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 7人				
8. 予算	☒ 市区町村予算 ☐ 委託金 ☐ 自治組織等予算 ☐ 寄附等 ☐ その他 ()				
9. 公民館運営審議会	☒ あり ☐ なし ☐ その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	☐ 子育て支援 ☐ 家庭教育支援 ☒ 子どもの体験活動 ☐ 子ども食堂 ☐ 若者のまちづくり参画 ☐ 健康づくり ☐ 高齢者の学び支援 ☒ 障害者の学び支援 ☒ ICTの活用 ☒ 防災 ☐ 地域学校協働活動 ☐ コミュニティ・スクール ☐ ボランティア養成 ☐ 地域資源を活用したまちづくり ☒ 日本語を母語としない住民の学び支援 ☐ 自主夜間中学 ☐ その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	☒ 複合施設 (☐ 図書館 ☐ 学校 ☐ 生涯学習センター) ☒ その他 (市民文化会館) ☒ 自由記述 (約360席収容の多目的ホールとして「講堂」があり、幅広い生涯学習活動が可能)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	☐ 幼稚園・保育所 ☐ 小中学校 ☐ 高校 ☒ 大学 ☐ 企業 ☐ NPO ☒ 各種団体 ☒ 行政機関 ☐ 図書館 ☐ 博物館 ☐ 青少年教育施設 ☐ その他 (名古屋芸術大学、特定非営利活動法人いぬやまe-コミュニティーネットワーク、犬山市心身障害児(者)父母の会、犬山市社会福祉協議会)				

犬山市南部公民館

OPEN 9:00～21:30

TEL 0568-68-0834

H P

<https://www.city.inuyama.aichi.jp/kurashi/manabu/1001566/index.html>

SNS





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 南部公民館及び併設の市民文化会館は、開館から約40年が経過し、建物や設備が老朽化している。
- 公民館利用者、公民館講座の受講者は、高齢者の割合が高く、固定化の傾向があった。
- 全市的な公共施設の老朽化も進む中、ハード・ソフトともに「今後の在り方」が問われている状況である。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【であい・ふれあい・まなびあいに向けた公民館講座の展開(障害者の学びの支援)】

○ 市民の生涯学習の場として展開している「公民館講座」をリニューアルし、公民館活動のスローガンである「であい・ふれあい・まなびあい」をテーマに、誰もが生涯学習活動を持続できるよう、障害者も参加しやすい仕組みづくりを実施し、内容を拡充していくことで、障害者の学ぶ機会の充実を図った。

○ 主幹講座として、アート分野は名古屋芸術大学と、ICT分野については特定非営利活動法人いぬやまe-コミュニティネットワークと連携をして講座の素案を策定し、犬山市心身障害児（者）父母の会に講座参加の打診をするとともに、犬山市障害者自立支援協議会に周知依頼と合わせて助言を受け、講座の開設につなげた。

○ アート分野で実施した「羊毛フェルトワークショップ」は、全10回の講座と展示会・交流会の構成で実施した。展示会や交流会の内容については講座の進行に応じて参加者から意見を募り、講師と受講者が一緒になって会場をつくり上げた。作品については、「公民館を水族館に」というモチーフのもと、市民ロビーの大きなガラス面に展示し、2ヶ月の間展示するとともに、展示会に来館できなかった方のため、「オンライン作品展」をインターネット上で開催した。また、ICT分野では「デジタルアート～パソコンでお絵かき～」と題し、公民館内のIT工房にて全5回の講座を開催した。



ワークショップ開催状況



オンライン作品展はこちらから

3. 取組による成果や効果

○ 募集にあたっては、広報及びチラシに介添人の同伴や手話通訳の希望の有無を確認する旨を記述するとともに、参加に懸念がある場合は問合せを促し、受講のハードルをできるかぎり下げるよう配慮した。また、応募方法については従前の電話申込に加え、オンライン申請を可能とした。併せて、南部公民館の窓口に電子メモパッドを設置し、必要に応じてスムーズに筆談を実施できるように体制を整えるとともに、既存の公民館講座についても、介添人の同伴や手話通訳対応を認めるなどの配慮を行い、受入態勢を整えた。

○ 参加者からも「土日は外出先がなく、こういった講座の開催は非常にありがたい。これからも参加したいので、今後も継続的に続けてほしい」と好意的な意見が多かった。

パソコンでお絵かきしてみませんか？
令和5年度 公民館特別講座受講生の募集案内

～であい ふれあい まなびあい～
毎日がもっと楽しく もっと豊かに
犬山市では、これまで「生きがい」をテーマに様々な公民館講座を実施してきました。今年度は障害者の社会活動の活性化を促すことを目的に新たな公民館講座の展開を進めています。
今回はNPO法人いぬやまe-コミュニティネットワークの協力のもと「デジタルアート～パソコンでお絵かき～」と題した講座を実施します。PowerPointを使用し、図形を描きながらお絵かきしていきます。
障害がある方もない方も一緒に講座を受講し作品を作ってみませんか？

※講座内容：デジタルアート～パソコンでお絵かき～
（全5回講座、詳細は募集案内を参照）
※会場：南部公民館1階 3Tエス
※対象：市内在住の18歳以上の大人
※定員：12人（応募多数の場合は抽選）
※講座費：NPO法人いぬやまe-コミュニティネットワーク
※申込方法：11月7日（火）～12日（日）に南部公民館へ電話
（受付時間：9:00～17:00）または下記二次元コードより申込み
デジタルアート講座の募集チラシ

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

○ もともと犬山市の附属機関として存在していた「犬山市公民館運営審議会」を母体とする「犬山市障害者の生涯教育連携協議会」を実施することとし、講座開設の方向性について意見を求めた。実際には従前から存在する公民館運営審議会を開催後、第二部として犬山市心身障害児（者）父母の会会長を始めとする当事者を含めた「助言者」を加え、連携協議会を年2回開催し、講座構築に向けた意見を聴取するとともに、次回以降の改善につなげている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

○ 想定とは違い、電子メモパッドは親子連れの申請においても大いに役立った。このように、障害のある方への配慮が、他の方の使いやすさにもつながることが多々あった。施設のハード面では完全なバリアフリーとはいえないまでも、職員のハート次第で対応ができる部分もあることから、公民館の在り方を検討していく中でも、今回の取組が十分活かされていくと確信している。

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

○ 公民館の在り方は時代によって変わってきている。時代の流れ、時代のニーズに対し、公民館は市民に求められていることを敏感に察知し、事業に反映させていくとともに、地域の課題を解決していくことも求められている。人生100年時代を迎え、本事業の実施を礎に、犬山市の公民館が共生社会の実現に向けた活動を実施できる施設へと変化していきたいと考える。



電子メモパッド（イメージ）



犬山市南部公民館の入口表示